

学校評価表 令和7年度 川地中学校 最終評価(自己評価)

	中期 経営目標	短期 経営目標	目標達成のための 方策・取組	成果指標(目標値) どこまでさせるか:数値	中間 達成率	最終 達成率	指標分析	評価	結果・課題・取組
探 究	「主体的 で探究的 な学びの 創造」	探究的に 学び続け る習慣の 確立 <教務部>	①授業改善の推進 (課題設定の工夫, 問いの精選)	①対話を意識した単元構 想シート一人1枚作成	①実施途中	①77.8%	①計画的に作成	3	①研究主題を踏まえ,ICT を効果的に活用したり,個別 最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させたりする ことを通して主体的・対話的で深い学びの実現に向けた 授業改善を今後も進める。
		②家庭学習の充実(宿 題や自主学習の内容 の指導,段階的な指 導)	②自主学習の各学年の 目標枚数達成者60% ,A評価60%以上 (全学年毎月10ペー ジ以上)	②64.4% 133.3%	②66.7% 130.5%	②自主学習の目標枚数 60%以上 (毎月10ページ以上) 1年:15% 2年:23% 3年: 82% (全体40.0%) 自主学習のA評価 60%以上 1年:63% 2年:72% 3年:100% (全体78.3%)	②自主学習の評価指標を見直し,「全学年毎月10ペー ジ以上」を新たに設定した。特定の時期に枚数が偏った り,達成する生徒も固定化したりするなど,課題がある。週 初めに実施しているカジュの会の指導の質を上げるな ど,更なる手立てを考え,実行に移す。		
		③習得した知識・技能 を用いた課題解決 (実態に応じた継続 的な指導)	③知識・技能問題の正答 率の向上60%以上思 考・判断・表現問題の 正答率の向上55% 以上(定期試験)	③99.9% 95.9%	③103.8% 86.7%	③定期試験:知識・技能62.3% 思考・判断・表現47.7%	③各種試験の知識・技能問題,思考・判断・表現力問題 の正答率やそれぞれの関連の分析の共有を図り,課題 を明らかにして組織的に授業改善に取り組み,定着率 の向上を図る。		
		「かく」活 動の充実と 表現力の 向上 <教務部>	①授業改善の授業推進 (対話を意識した活 動の設定)	①作成した単元構想シー トをもとに対話を意識し た授業を全員が年1回 以上実施	①100%	①77.8%	①計画的に実施 (研究授業 7/9人実施)	3	①生徒の実態を質的・量的な面で分析し,研究主題を踏 まえて組織的に授業改善に取り組んでいる。単元構想シ ートをもとに,今後も対話を通し,考えを深めていく授業を 設計する。
		②言語活動の充実(自 己表現の取組)	②アウトプット活動を生徒 全員が各学期2回以上 実施	②実施途中	②100%	②1・2年生は1分間スピーチ,3年生は自己表現の取組な ど,学年に応じて計画的に実施中	②言語活動の充実を図るため,アウトプットの活動の一 貫として,実施している。思考の「見える化」,「可視化」で ある外化を積極的に取り入れ,更なる表現力の向上を図 る。		
		③小中一貫教育の推進 (9年間の語彙指導, 小中つながりのある 「かく」指導)	③小中合同研修年3回, 小学校への授業参観 年2回実施 小中合同研修年3回, 「かく」指導や自主学 習の方法等の系統づく り	③100%	③100%	③6月11日 第1回学区合同研修会 8月22日 第2回学区合同研修会 1月15日 第3回学区合同研修会	③小学校と児童・生徒の実態把握を図り,今後も共通の 課題をもって指導に取り組む。		